

第24回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会

近未来の全日本チャンピオン戦 高校生男子組手試合 試験的实施

2013年7月30日

日本テコンドー協会

宗師範 河 明生

日本テコンドー協会（以下、JTA）の加盟クラブには、優秀な蹴美の才能が育ち始めている。
近未来の全日本フルコンタクト・テコンドー・チャンピオンに成長するであろう高校生蹴士である。
才能は、好敵手と競い、もまれてこそ開花するものである。

JTAは、近未来の全日本フルコンタクト・テコンドー・チャンピオンを育てるため、
高校生男子の選ばれし蹴士達が、格闘技の殿堂・後樂園ホールで輝ける機会を提供すべきである。
そこで第24回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会において高校生男子組手試合を試験的に実施し、
JTA初代高校生チャンピオンを決定する。

ただし、本種目の実施は固定化しない。優秀な選手が存在する限りにおいて実施する。

現時点で選抜された高校生蹴士は下記の通りである。

ワンマッチでも実施する。

なお、関西大会および全日本学生大会の結果により1～2名ほど追加する場合がある。

言記

ランキング	選抜者名	段位	所属	(指導者)	学年
第1位	三富湧太	初段	湘南平塚テコンドークラブ	(尾崎圭司)	高校1年生
第2位	宮城汰月	初段	神戸六甲テコンドークラブ	(妹尾将吾)	高校1年生

以上2名

組手ルールは、JTAライト・テコンドー・ルール高校生部特別ルールとする。

無差別級のため、突きは全面的に禁止し、

フルコン系空手の得意技である回し蹴りは上段・中段ともに禁止する。

ヘッドギアを着用しなければならない（近日中に公開）。

しかし、組手は事故のリスクがある。

選抜されたからといって必ずしも出場する義務はなく、不参加によって生じる不利益は皆無である。

本人が出場する意思が固く、保護者も許可する限りにおいて本種目は成立する。